



令和6年度

祇園小学校の教育

学校教育目標

響き合い、輝き合いながら、
共によりよく生きようとする子どもの育成

関係法令
学習指導要領
教育ビジョンとちぎ
下都賀地区学校教育の重点
下野市学校教育計画
二中学区小中一貫教育ビジョン

児童の実態
地域・保護者の願い

目指す児童像

健康で明るい子（たくましく）

低：めあてをもち意欲的に運動する子
中：自他の健康や安全に気を配れる子
高：明るい心で生活できる子

進んで学ぶ子（かしこく）

低：学び方がよく身につけている子
中：自分なりの考えをもって学ぶ子
高：学び合い高め合う子

心の豊かな子（なかよく）

低：ルールやマナーを守って生活できる子
中：だれとでも仲良くし親切ができる子
高：進んで社会や人のために働く子

目指す学校像

- ・明るく、活力のある学校
- ・学び合い、楽しく居がいのある学校
- ・一人一人が目標に向かって精一杯頑張る学校
- ・保護者・地域と連携し、信頼される学校

教職員の基本姿勢

- ・教育に対する情熱を持ち、子どもと共感できる教職員
- ・自己を磨き、人と高め合える教職員
- ・変化に対応できる課題解決能力を持つ教職員
- ・心身ともに健康で、子ども・保護者・地域から信頼される教職員

学校経営の方針

- (1) 「はしって とんで ねて 食べて 元気いっぱい ぎおんの子」を合い言葉に、体育部・保健部・食育部が連携し、健康的な生活習慣の確立を図る。
- (2) 指導方法の工夫・改善に努め、児童が、分からないことを分からないと言えて「分かる喜び、学び合う楽しさ」を味わい、確かな学力と、生涯に渡って学び続けようとする態度を育む。
- (3) 児童一人一人の人権が尊重され、互いに認め合い助け合いながらそれぞれの個性や能力が発揮できる「安心感と自信をもって学べる学校づくり」を全教職員で進める。
- (4) 児童にふるさとを愛し、自分の身近な人々や社会のために働こうとする態度を養わせ、家庭や地域との連携を深め、地域とともにある学校づくりに努める。
- (5) 教職員一人一人が自らの力を発揮し、信頼し合い、認め合い、同僚性の高い職場環境をつくる。

努力点及び主な具体策 ○重点

(1) 自らの健康を考え、実践できる力を育む健康教育の充実

- ア 健康上の課題を明確にし、家庭と連携しながら、望ましい生活習慣の確立に努める。
 - ・保健指導の充実及び健康教育の推進
 - ・食育の充実による望ましい食習慣の形成とアレルギー対応の徹底
 - ・立腰指導推進と早寝早起き朝ご飯の意識付

- イ 児童が目当てをもち意欲的、継続的に体力づくりに取り組むことができるようにする。
 - ・めあてが明確で、楽しく運動量のある体育の授業
 - ・体育的行事、業間体育の活用
 - ・外遊びの励行

- ウ 危機管理体制の確立と安全管理の徹底と感染症拡大防止策の徹底
 - ・安全指導の徹底による危機回避能力の育成
 - ・家庭地域と連携した児童の安全確保

(5) 教職員の資質・能力の向上

- ア 風通しの良い職場環境を構築する。
- イ 研修の充実(学校課題、現職・自己研修)
- ウ 報告・連絡・相談の徹底とPDCAサイクルによる改善を図る。
- エ 危機管理、安全管理を徹底する。
- オ 業務改善の推進を図る。

(2) 学ぶ力を育む学習指導の推進

- ア 「主体的・対話的で、深い学び」を実現する授業の充実・改善を図り、思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・教師のコーディネート力の向上
 - ・個別最適な学習から協働学習へ
 - ・言語活動の充実

- イ 基礎的・基本的な学習内容の定着と、発展的な学習内容の提示を図る。

- ウ 「学び方」の学習を通して自己解決力を高める。
 - ・ICT活用と情報モラル指導

- エ 体験学習、外部講師から学ぶ活動を重視し、感性や好奇心・探究心を育む。

- オ 自主的・自活的な読書活動の推進を図る。
 - ・家読、朝読、新聞の日、親子新聞の日の活用

- カ 各種学力テスト等の検証改善サイクルの運用により、学力向上を図る。

(4) 地域と共にある学校の推進

- ア 地域の環境や人材をはじめ、地域の教育資源を生かした学習を積極的に取り入れる。

- イ 保護者や地域住民とのつながりを大切にし、互いに相談しやすい雰囲気と関係をつくる。

- ウ 二中学区小中一貫教育を推進し、共通指導と交流活動を進める。(クリーン活動・挨拶運動等)

(3) 自己肯定感を高め、誰もが楽しく居心地の良い学級づくりと心や社会性を育む教育の充実

- ア 信頼関係を基盤とした、安心感のもてる学級経営を行う。

- イ 学業指導を通して、規範意識・帰属意識、学習意欲の高い学級をつくる。

- ウ 多様性を認め合い、人間関係を構築する場を意図的に設定する。

- エ 道徳科を核とした心の教育の充実を努める。
 - ・考え、議論する道徳の実践

- オ 特別活動を通して主体性、協調性、責任感や社会性、思いやり、自治能力などを育む。
 - ・縦割り班活動
 - ・キャリア教育、福祉教育、環境教育

- カ 当たり前のことを当たり前でできる力を育む。
 - ・挨拶、返事、横断の仕方、感染予防

- キ 未然防止の児童指導の推進を図る。

- ク 特別支援教育の充実
 - ・安心感と分かりやすさ

◎創意ある学校経営の推進

- ・働き方改革を意識した職務の遂行(業務改善・行事の精選・スリム化)
- ・学校評価の有効な活用
- ・PDCA → DCAPの実践
- ・児童主体の行事の実施
- ・ふるさと学習の充実と実践

スローガン

笑顔かがやく学校 (挨拶・安全・つながり・チャレンジ)